

## 斜面を楽しむ 岡崎市島坂保育園(愛知県岡崎市)

2歳児

2歳児なり、三輪車に上手に乗れるようになったA児、B児の事例

(4月)

保

は保育者の読み取り

A児は遊具倉庫の戸口前のコンクリートの部分は(斜面になっていて)、三輪車が自然に後ろへ下がっていくことを見つけ、楽しむ姿が見られた。

保 転ぶこともなく滑っているので(安全確認)  
敢えて側で様子を見る



同じように三輪車が楽しいB児が、A児の姿を見てまねして滑ってみた。うまく滑れたので、二人は繰り返し楽しんでいた。

保 前から滑るのと後ろに滑るのとでは、感じ方が異なるのかな?



A児はハンドルをひねると三輪車が斜めに滑ることを見つけ、「Bくん、こうやってやると面白いよ」と言った。

保 同じ遊びを楽しんでいる友達のことが分かり、自分の発見を伝えている。A児は何でも挑戦してみたいという姿勢があり、遊びの中で様々な工夫をする様子が見られる

B児はA児を見て、顔を見合わせた。少し力を入れてペダルを踏んで、まっすぐ滑っていく感覚を楽しんでいた。

保 B児は、自分に話してくれたことはうれしいが、自分なりに楽しみたいようだ

A児B児に、保育者が「後ろに滑ってみてどんな感じだった?気持ちいい?怖い?」と聞くと、B児「怖くないよー」A児「気持ちいいよー」と言った。

何十回と繰り返し、満足した様子で別の場所へ移動して行った。

保 十分満足できれば、自分から自然に次のことへ移行していけるようである

### みどころ

三輪車ができるようになったという「体感」は喜びと結びつき、どこまでも進んだり曲がったりスピードを出すなど、いろいろなことに挑戦し、その時々感じ方の違いも味わいながら楽しんでいたと思われます。そうした探索行動により、斜面を後ろに滑り降りるという「体感」をし、斜面、体の向き・三輪車の向き、少しスリルを感じる速さなどに気付いています。そのため、A児はハンドルで向きを変えようということも試みて、新たな面白さを見つけました。B児はまだまっすぐ後ろに下がるという、体の向き・三輪車の向き、少しスリルを感じる速さを繰り返し「体感」し、楽しんでいます。自分の思いで意欲的に探求している姿です。

また、同じことに興味をもち、同じことを楽しむ友達の存在が分かり、「楽しいね」と2歳児なりの共感している相手を感じている様子があり、この「体感」も大切な経験です。